

ー「痛み」と「祈り」とホスピタルアートー

「痛み」から生まれる「祈り」のカタチ
それが四国こどもとおとなの医療センターのホスピタルアート
2008～2025 四国こどもとおとなの医療センターとNPOアーツプロジェクト
17年間の協働と実践から



四国こどもとおとなの医療センター
NPOアーツプロジェクト
森 合音

病院におけるアート活動とは

病院内に創造的な問題解決の場をつくるということ。そしてその改善へのプロセスの中で医療者と患者、クリエイター、地域住民が歩み寄り、つながり、対話の中から「新しい病院のかたち」「新しい価値」を見出してゆく創造的な取り組み。

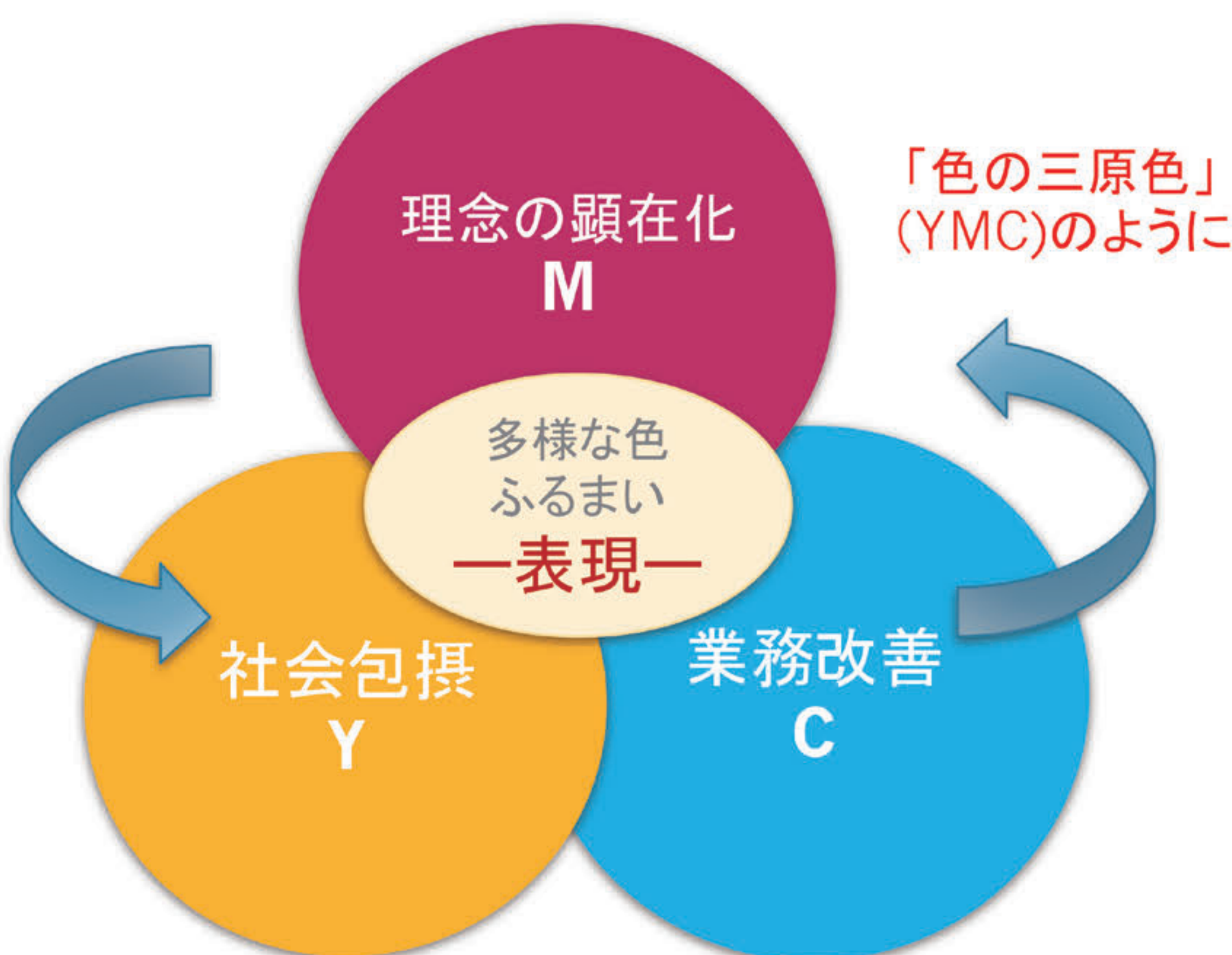
長期的な視点で取り組む問題解決 全員参加型の病院づくり

問題「痛み」を直視し共有することから始める

「痛み」のあるところにこそ
アート(想像・創造)は生まれる

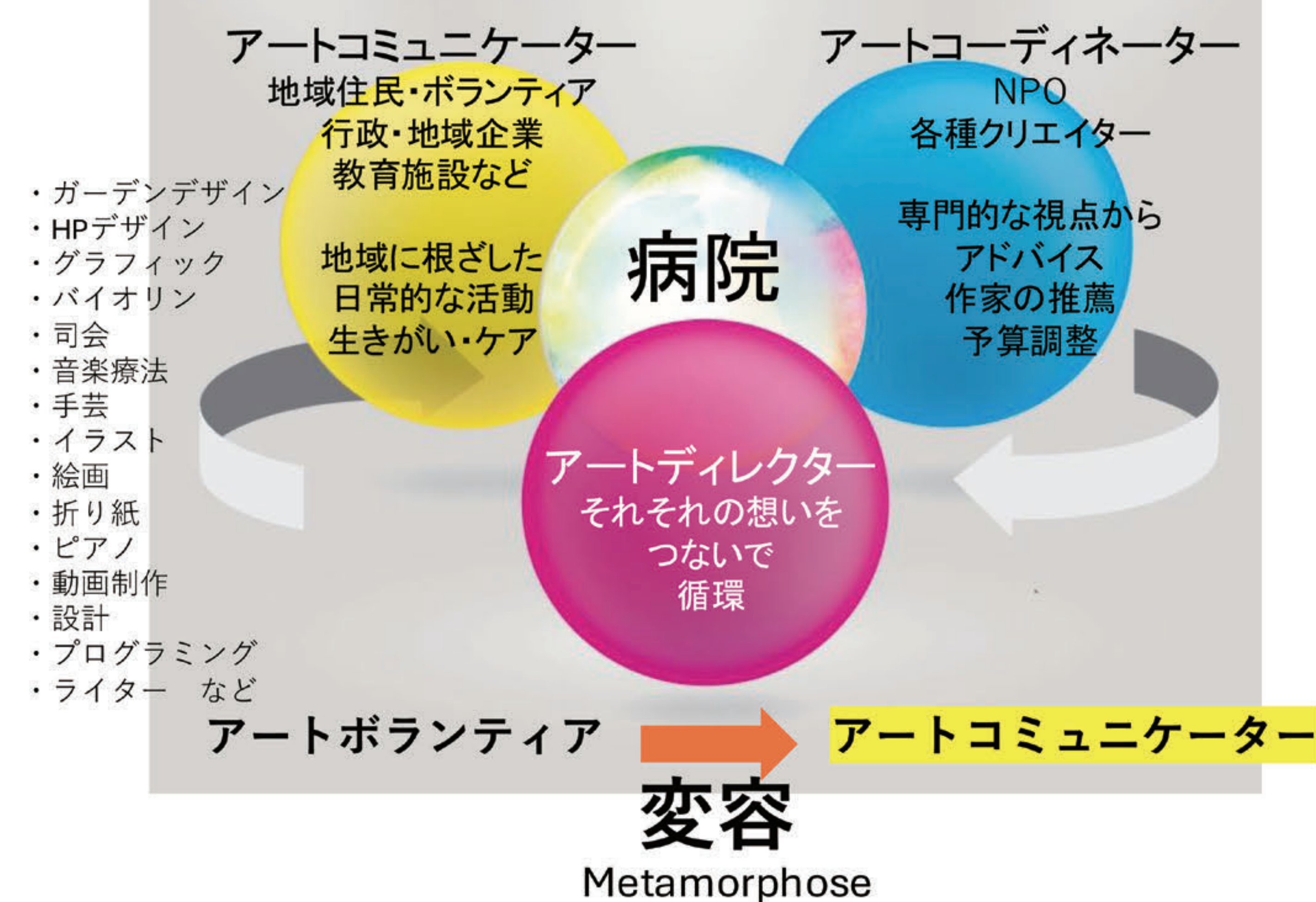
「場」が主導のホスピタルアート

3つの要素は「場」のニーズ(痛み)によって
調合され その「場」に合った色・表現を生み出す
ホスピタルアートは医療現場のやむにやまれぬ「祈り」



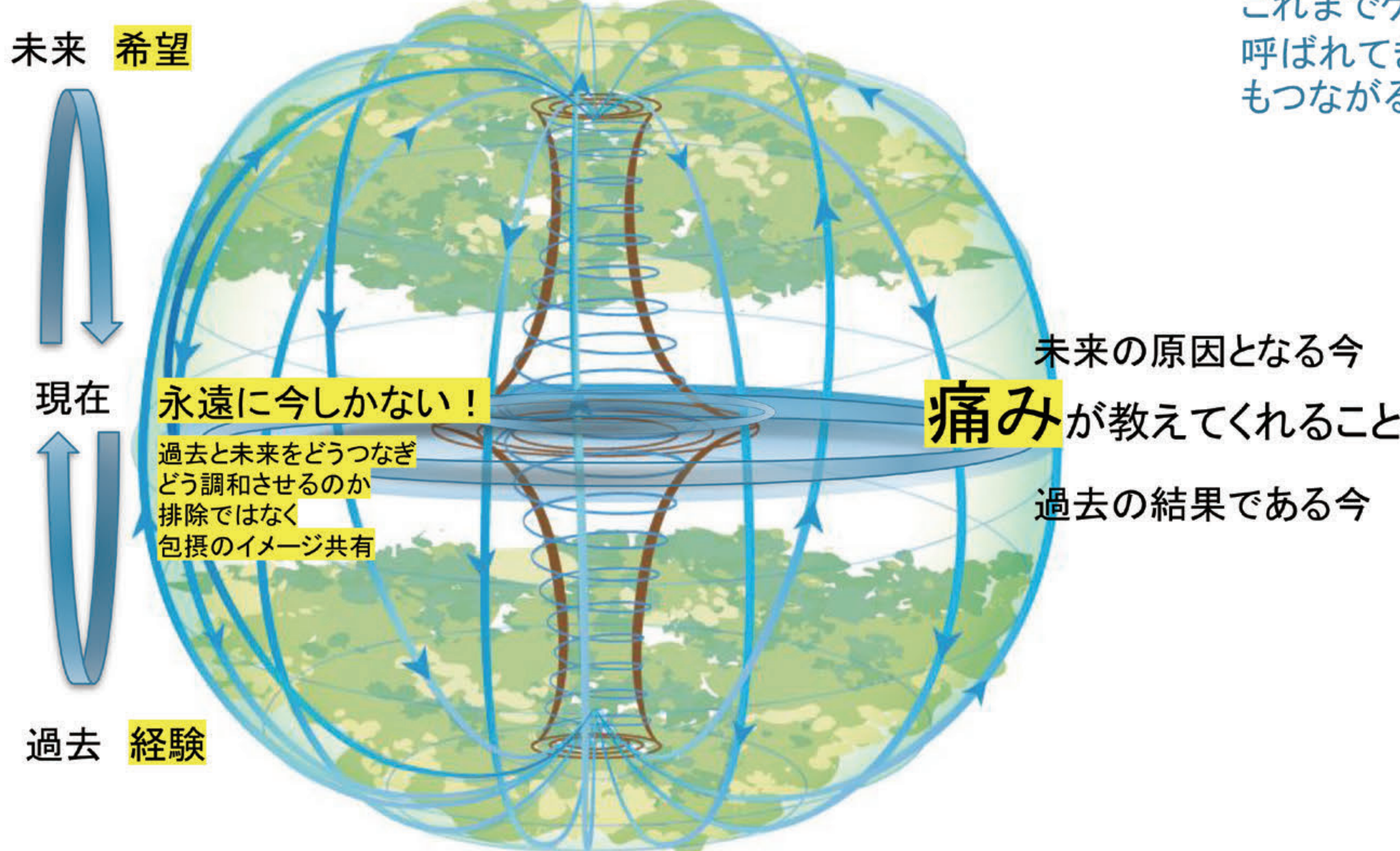
ホスピタルアート実践のための 具体的な担い手・業務連携

病院 + NPO + 地域



空気を循環させる意識のデザイン

過去も未来も意識(イメージ)の中にある
今につながり 共に変化し続けている



過去のエビデンスだけを根拠に今を選択するのでなく
まだ見ぬものへの期待と「祈り」も含めて選択

「痛い」って言い合える 対話の「場」づくり ーHealing Garden Projectー



四国こどもとおとなの
医療センター

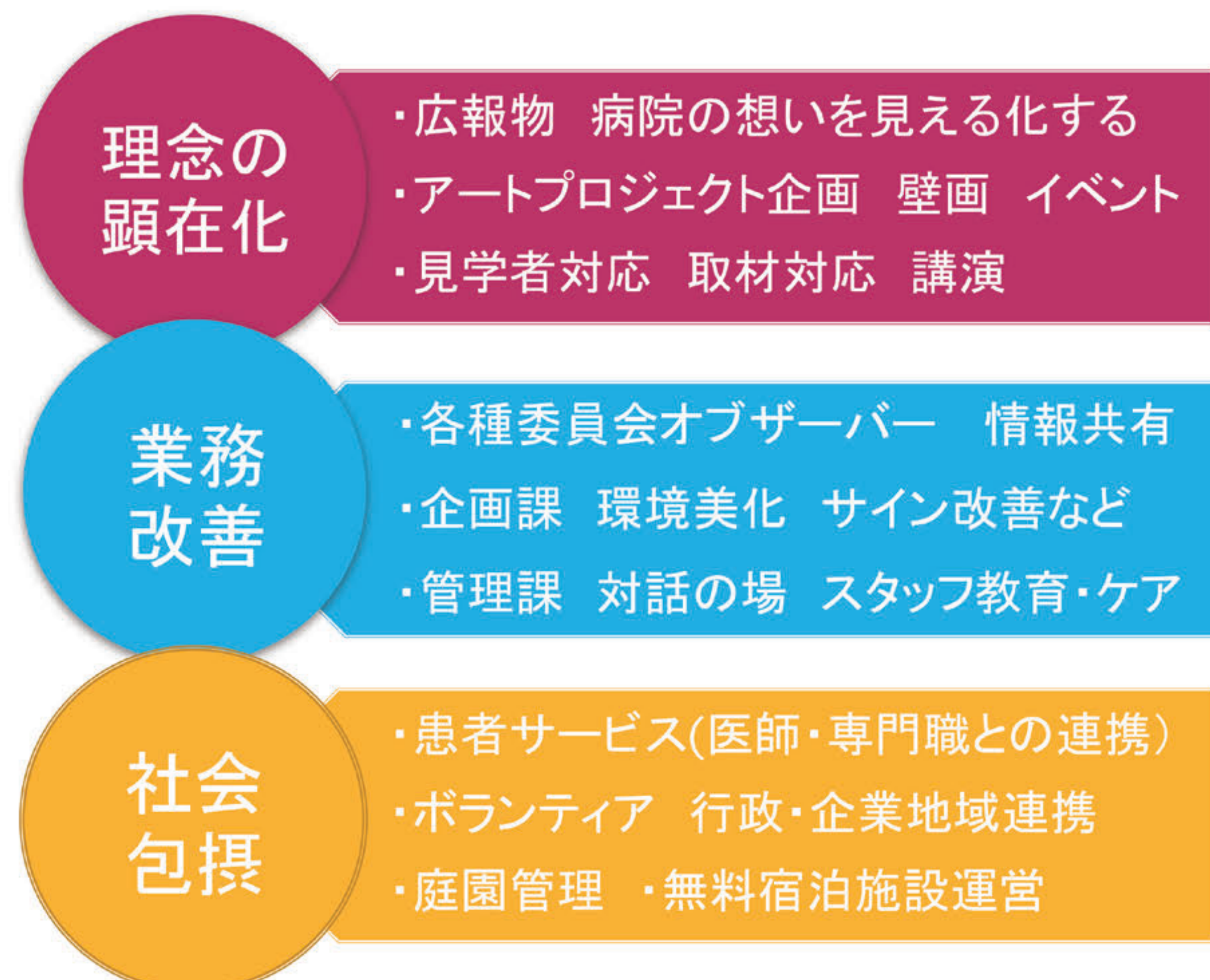


NPOアーツプロジェクト



12年間 活用できていない庭
計画はまだ白紙！

医療現場のニーズ(痛み)から 生まれた3つの役割

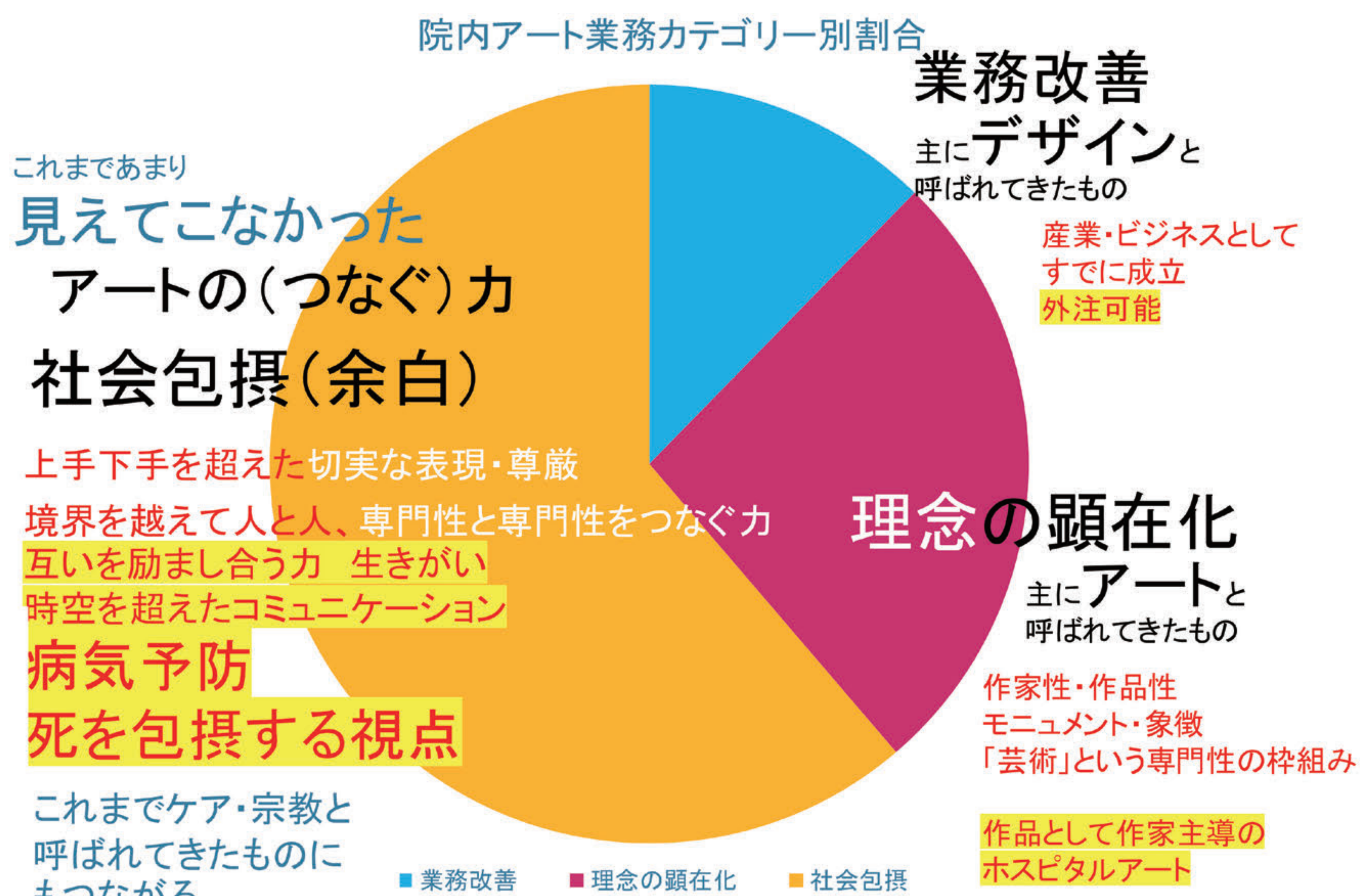


役割は
時間の流れ
と共に
循環する

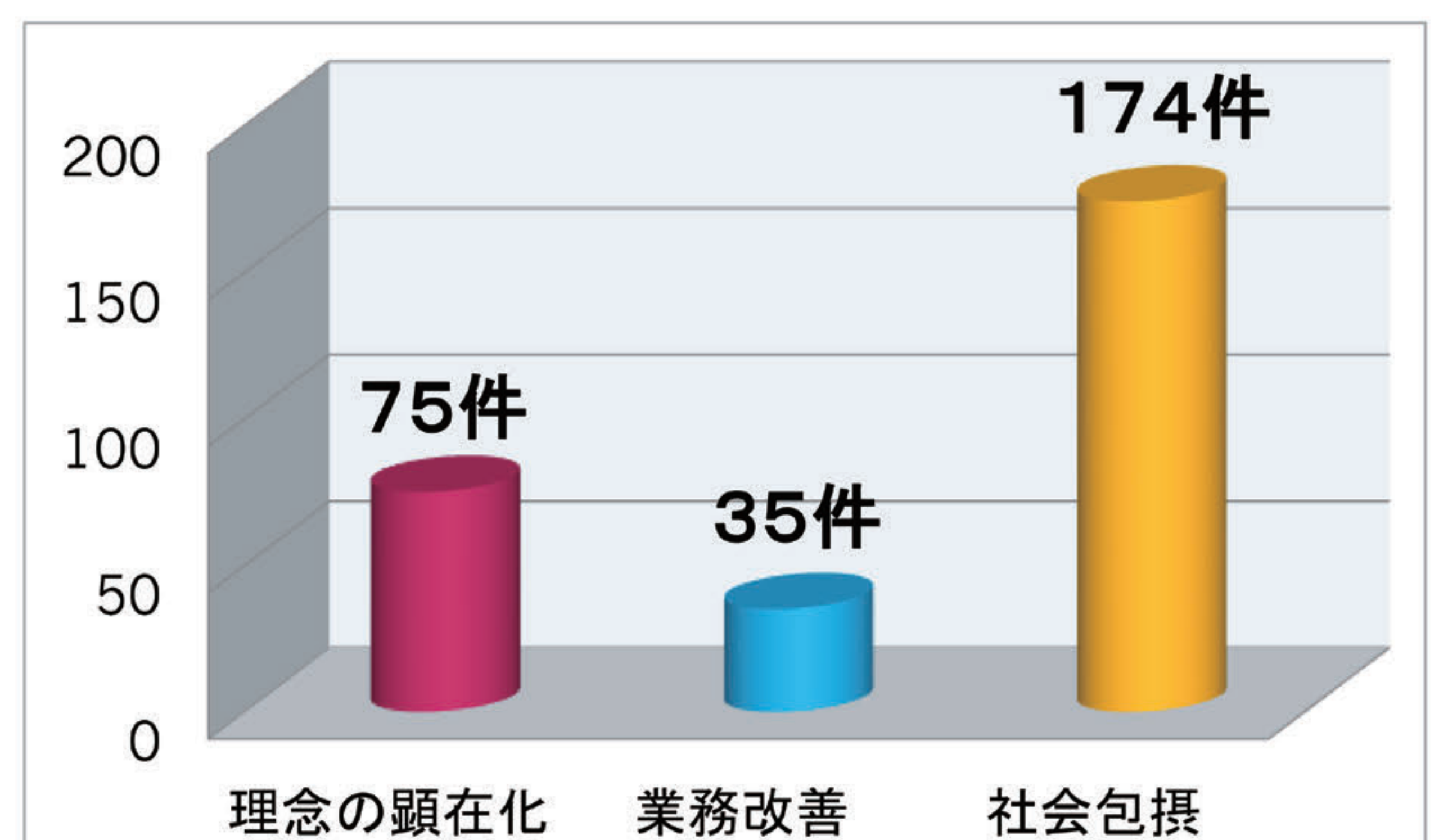
①
自己表現
伝える

②
利他表現
声を聴く

③
相互表現
つながる
循環



2014年度 カテゴリー別 アート業務件数 一年間284件ー



助けたり・助けられたり 癒し合う「庭」2025 地域と共に“育てる“

